



2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年2月2日
上場取引所 東

上場会社名 日本酸素ホールディングス株式会社
 コード番号 4091 URL <https://www.nipponsanso-hd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 濱田敏彦
 問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 梅原崇禎 TEL 03-5788-8512
 四半期報告書提出予定日 2022年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	691,535	16.8	76,316	26.2	76,256	20.7	52,008	35.9	50,136	34.3	73,151	10.8
2021年3月期第3四半期	592,256	△6.5	60,468	△11.4	63,154	△12.2	38,275	△10.0	37,318	△9.8	66,032	131.6

(参考) 税引前利益 2022年3月期第3四半期 68,991百万円(26.1%) 2021年3月期第3四半期 54,721百万円(△10.2%)
 コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（非経常項目）を除いて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	115.85	—
2021年3月期第3四半期	86.24	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	1,880,388	602,473	570,443	30.3
2021年3月期	1,836,294	543,900	513,164	27.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	14.00	—	16.00	30.00
2022年3月期	—	16.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	932,000	13.9	101,000	15.8	101,000	13.7	69,000	21.3	67,000	21.3	154.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

(参考) 税引前利益 通期 91,000百万円(17.1%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	433,092,837株	2021年3月期	433,092,837株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	344,467株	2021年3月期	342,332株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	432,749,531株	2021年3月期3Q	432,752,699株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(全般の概況)

当第3四半期連結累計期間(2021年4月1日から2021年12月31日まで)における当社グループの事業環境は、前期に続き新型コロナウイルス感染症の収束の見通しは立っていない状況であります。欧州や米国を中心に経済回復がみられ、セパレートガス(酸素、窒素、アルゴン)の出荷数量は、前期に比べて大きく増加しました。なお、当第3四半期連結累計期間での新型コロナウイルス感染症による業績への影響ですが、売上収益及びコア営業利益に前期ほどのマイナスの影響は受けておりません。一部の事業活動への影響は継続しているものの、グローバル各極においては、セパレートガスの安定供給体制を維持しております。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上収益6,915億35百万円(前年同期比16.8%増加)、コア営業利益763億16百万円(同26.2%増加)、営業利益762億56百万円(同20.7%増加)、親会社の所有者に帰属する四半期利益501億36百万円(同34.3%増加)となりました。

なお、コア営業利益は営業利益から非経常的な要因により発生した損益(事業撤退や縮小から生じる損失等)を除いて算出しております。

(事業別の概況)

セグメント業績は、次のとおりです。

なお、セグメント利益はコア営業利益で表示しております。

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成した数値で比較しております。

① 日本ガス事業

産業ガス関連では、主力製品であるセパレートガスの売上収益は、全般的に関連業界での生産活動が回復し、前期に比べ大きく増加したことに加え、LPガスでは出荷数量が減少したものの、仕入価格が大幅に上昇したことで販売単価も上昇し、増収となりました。また、エレクトロニクス関連での電子材料ガスの販売は堅調で増収となりました。機器・工事の産業ガス関連では、医療向け関連機器の販売が好調で、エレクトロニクス関連も、前期に比べ増収となりました。

以上の結果、日本ガス事業の売上収益は、2,667億55百万円(前年同期比9.0%増加)、セグメント利益は、224億74百万円(同15.0%増加)となりました。

② 米国ガス事業

産業ガス関連では、主力製品であるセパレートガスの売上収益は、バルクガスを中心に生産活動の回復により、大きく増加しました。また、炭酸ガスの販売も好調でした。機器・工事では、前期に需要が冷え込んだ溶接・溶断関連機材が回復し、大幅に増収となりました。また、エレクトロニクス関連での売上収益も増加しました。

以上の結果、米国ガス事業の売上収益は、1,642億36百万円(前年同期比17.8%増加)、セグメント利益は、204億39百万円(同28.5%増加)となりました。

③ 欧州ガス事業

前期は、新型コロナウイルス感染症の拡大による深刻な影響で、主要地域となるイベリア、ドイツ、イタリアでは、生産活動全般で停滞が生じたことにより、全般的に需要は大きく落ち込みましたが、前期の後半から徐々に回復基調が続いており増収となりました。

以上の結果、欧州ガス事業の売上収益は、1,492億49百万円(前年同期比28.7%増加)、セグメント利益は、194億30百万円(同34.4%増加)となりました。

④ アジア・オセアニアガス事業

産業ガス関連では、関連業界での生産活動が回復したことで、主力製品であるセパレートガスの売上収益は増加しました。主に豪州地域での販売が多くを占めるLPガスでは、仕入価格の上昇による販売単価の上昇と出荷数量が堅調に推移し、増収となりました。エレクトロニクス関連では、東アジアでの電子材料ガスは増収となりました。また、機器・工事では、産業ガス関連で増収となりました。

以上の結果、アジア・オセアニアガス事業の売上収益は、907億82百万円(前年同期比21.9%増加)、セグメント利益は、97億34百万円(同27.2%増加)となりました。

⑤ サーモス事業

サーモス事業は、日本では、ケータイマグやスポーツボトルの出荷数量が前期から回復し、売上収益は大きく増加しました。また、自宅で過ごす時間の長い新たなライフスタイルが浸透したことに関連し、前期に続き、フライパンやタンブラーの販売数量は増加しました。海外では、販売地域での景気回復により出荷数量は増加しました。

以上の結果、サーモス事業の売上収益は、203億61百万円（前年同期比 15.5%増加）、セグメント利益は、49億53百万円（同 40.7%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は1兆8,803億88百万円で、前連結会計年度末比で440億93百万円の増加となっております。為替の影響については、前連結会計年度末に比べ期末日レートの米ドルで4円31銭の円安、ユーロで0円71銭の円安となるなど、約249億円多く表示されております。

〔資産〕

流動資産は、営業債権の増加や現金及び現金同等物の減少等により、前連結会計年度末比で293億71百万円増加し、3,982億72百万円となっております。

非流動資産は、その他の金融資産や有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末比で147億22百万円増加し、1兆4,821億15百万円となっております。

〔負債〕

流動負債は、社債及び借入金の減少や営業債務の増加等により、前連結会計年度末比で151億66百万円減少し、3,108億53百万円となっております。

非流動負債は、繰延税金負債の増加や社債及び借入金の減少等により、前連結会計年度末比で6億86百万円増加し、9,670億61百万円となっております。

〔資本〕

資本は、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上による増加や、利益剰余金の配当による減少、在外営業活動体の換算差額の増加等により、前連結会計年度末比で585億73百万円増加し、6,024億73百万円となっております。

なお、親会社所有者帰属持分比率は30.3%で前連結会計年度末に比べ2.4ポイント高くなっております。

(キャッシュ・フローの分析)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引前四半期利益、減価償却費及び償却費、営業債権の増減額等により、営業活動によるキャッシュ・フローは973億64百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出等により、投資活動によるキャッシュ・フローは472億7百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の返済による支出、社債の発行による収入、短期借入金の純増減額等により、財務活動によるキャッシュ・フローは621億49百万円の支出となりました。

これらの結果に、為替換算差額等を加えた当第3四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の四半期末残高は、786億45百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2022年2月2日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2021年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	91,058	78,645
営業債権	182,077	208,229
棚卸資産	69,613	81,926
その他の金融資産	6,710	6,808
その他の流動資産	19,441	22,663
流動資産合計	368,901	398,272
非流動資産		
有形固定資産	685,733	692,399
のれん	455,036	459,928
無形資産	237,751	232,738
持分法で会計処理されている投資	32,295	33,557
その他の金融資産	49,739	56,647
退職給付に係る資産	2,467	2,410
その他の非流動資産	1,120	1,225
繰延税金資産	3,249	3,208
非流動資産合計	1,467,393	1,482,115
資産合計	1,836,294	1,880,388

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2021年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	96,093	107,415
社債及び借入金	131,721	108,365
未払法人所得税	11,022	7,614
その他の金融負債	58,428	58,564
引当金	469	331
その他の流動負債	28,284	28,562
流動負債合計	326,019	310,853
非流動負債		
社債及び借入金	780,895	772,227
その他の金融負債	29,453	29,643
退職給付に係る負債	14,037	14,351
引当金	3,870	4,250
その他の非流動負債	19,359	20,889
繰延税金負債	118,757	125,698
非流動負債合計	966,374	967,061
負債合計	1,292,394	1,277,914
資本		
資本金	37,344	37,344
資本剰余金	55,901	55,822
自己株式	△273	△279
利益剰余金	422,838	461,716
その他の資本の構成要素	△2,646	15,839
親会社の所有者に帰属する持分合計	513,164	570,443
非支配持分	30,736	32,029
資本合計	543,900	602,473
負債及び資本合計	1,836,294	1,880,388

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
 要約四半期連結損益計算書
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	592,256	691,535
売上原価	△363,025	△426,569
売上総利益	229,230	264,966
販売費及び一般管理費	△171,588	△191,052
その他の営業収益	3,223	1,704
その他の営業費用	△1,881	△1,590
持分法による投資利益	4,171	2,228
営業利益	63,154	76,256
金融収益	1,102	1,634
金融費用	△9,535	△8,900
税引前四半期利益	54,721	68,991
法人所得税	△16,446	△16,982
四半期利益	38,275	52,008
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	37,318	50,136
非支配持分	956	1,872
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	86.24	115.85

要約四半期連結包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益	38,275	52,008
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産	5,417	8,167
確定給付制度の再測定	△17	32
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	△33	53
純損益に振り替えられることのない項目合計	5,366	8,253
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	22,531	11,883
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変 動の有効部分	131	△61
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	△272	1,067
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	22,390	12,889
税引後その他の包括利益合計	27,756	21,142
四半期包括利益	66,032	73,151
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	64,767	71,174
非支配持分	1,264	1,976

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金
2020年4月1日残高	37,344	56,387	△268	379,322
四半期利益	—	—	—	37,318
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	—	37,318
自己株式の取得	—	—	△3	—
自己株式の処分	—	0	0	—
配当	—	—	—	△12,121
支配継続子会社に対する持分変動	—	△369	—	—
企業結合又は事業分離	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	1
連結範囲の変動	—	—	—	△110
その他の増減	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△369	△3	△12,231
2020年12月31日残高	37,344	56,017	△272	404,410

その他の資本の構成要素

	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・ユー・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計	親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2020年4月1日残高	△71,170	19	7,709	—	△63,441	409,344	31,349	440,693
四半期利益	—	—	—	—	—	37,318	956	38,275
その他の包括利益	22,020	126	5,319	△17	27,448	27,448	307	27,756
四半期包括利益	22,020	126	5,319	△17	27,448	64,767	1,264	66,032
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△3	—	△3
自己株式の処分	—	—	—	—	—	0	—	0
配当	—	—	—	—	—	△12,121	△555	△12,677
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	—	△369	△2,716	△3,086
企業結合又は事業分離	—	—	—	—	—	—	54	54
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△18	17	△1	—	—	—
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	△110	—	△110
その他の増減	—	—	—	—	—	—	272	272
所有者との取引額等合計	—	—	△18	17	△1	△12,605	△2,945	△15,551
2020年12月31日残高	△49,149	146	13,009	—	△35,994	461,506	29,667	491,174

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金
2021年4月1日残高	37,344	55,901	△273	422,838
四半期利益	—	—	—	50,136
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	—	50,136
自己株式の取得	—	—	△5	—
自己株式の処分	—	0	0	—
配当	—	—	—	△13,853
支配継続子会社に対する 持分変動	—	△79	—	—
企業結合又は事業分離	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	2,552
連結範囲の変動	—	—	—	43
その他の増減	—	—	—	△0
所有者との取引額等合計	—	△79	△5	△11,257
2021年12月31日残高	37,344	55,822	△279	461,716

その他の資本の構成要素

	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計	親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2021年4月1日残高	△18,029	71	15,310	—	△2,646	513,164	30,736	543,900
四半期利益	—	—	—	—	—	50,136	1,872	52,008
その他の包括利益	12,849	△60	8,217	32	21,038	21,038	104	21,142
四半期包括利益	12,849	△60	8,217	32	21,038	71,174	1,976	73,151
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△5	—	△5
自己株式の処分	—	—	—	—	—	0	—	0
配当	—	—	—	—	—	△13,853	△991	△14,844
支配継続子会社に対する 持分変動	—	—	—	—	—	△79	129	49
企業結合又は事業分離	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	△2,519	△32	△2,552	—	—	—
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	43	—	43
その他の増減	—	—	—	—	—	△0	179	179
所有者との取引額等合計	—	—	△2,519	△32	△2,552	△13,895	△682	△14,578
2021年12月31日残高	△5,180	11	21,008	—	15,839	570,443	32,029	602,473

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	54,721	68,991
減価償却費及び償却費	64,120	68,339
受取利息及び受取配当金	△755	△857
支払利息	9,514	8,742
持分法による投資損益 (△は益)	△4,171	△2,228
有形固定資産及び無形資産除売却損益 (△は益)	△357	73
営業債権の増減額 (△は増加)	632	△23,766
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6,698	△10,956
営業債務の増減額 (△は減少)	△4,416	9,832
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△295	△432
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	612	806
その他	△3,319	1,655
小計	109,587	120,199
利息の受取額	149	137
配当金の受取額	3,075	3,427
利息の支払額	△8,743	△8,274
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△15,498	△18,126
営業活動によるキャッシュ・フロー	88,569	97,364
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△43,865	△50,343
有形固定資産の売却による収入	1,072	904
投資の取得による支出	△524	△943
投資の売却及び償還による収入	38	5,332
子会社の取得による支出	△119	△520
子会社の売却による収入	—	0
その他	△755	△1,636
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,153	△47,207

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△10,373	18,774
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	4,000	△7,000
長期借入れによる収入	52,308	13,942
長期借入金の返済による支出	△76,000	△76,182
社債の発行による収入	—	25,000
社債の償還による支出	—	△15,000
リース負債の返済による支出	△6,485	△6,595
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△2,830	△199
配当金の支払額	△12,121	△13,853
非支配持分への配当金の支払額	△555	△991
その他	35	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,021	△62,149
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	3,252	△674
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,353	△12,666
現金及び現金同等物の期首残高	100,005	91,058
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	253
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	19	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	95,670	78,645

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。なお、報告にあたって事業セグメントの集約は行っていません。

当社グループは、鉄鋼、化学、エレクトロニクス産業向けなどに国内外でガス事業を行っており、主要製品に関しては、日本、米国、欧州、アジア・オセアニアの各地域において、それぞれ生産・販売体制を構築しております。また、ステンレス製魔法瓶など家庭用品の製造・販売などの事業も行ってしております。したがって、当社は、「日本ガス事業」「米国ガス事業」「欧州ガス事業」「アジア・オセアニアガス事業」「サーモス事業」の5つを報告セグメントとしております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、持株会社体制への移行に伴い、各セグメントの経営成績をより適切に評価することを目的として、第1四半期連結会計期間より、当社及び一部の連結子会社の報告セグメント並びに調整額を変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

※報告セグメント「国内ガス事業」は、「日本ガス事業」に名称を変更しております。

各報告セグメントの主要な製品は、以下のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品・サービス
日本ガス事業	酸素、窒素、アルゴン、炭酸ガス、ヘリウム、水素、アセチレン、ガス関連機器、特殊ガス（電子材料ガス、純ガス等）、電子関連機器・工事、半導体製造装置、溶断機器、溶接材料、機械装置、LPガス・関連機器、医療用ガス（酸素、亜酸化窒素等）、医療機器、安定同位体
米国ガス事業	
欧州ガス事業	
アジア・オセアニアガス事業	
サーモス事業	

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している方法と同一であります。なお、セグメント間の内部売上収益又は振替高は、主に市場実勢価格に基づいております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益及び損益の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	連結
	日本ガス 事業	米国ガス 事業	欧州ガス 事業	アジア・ オセアニア ガス事業	サーモス 事業	合計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	244,622	139,385	115,938	74,480	17,635	592,062	193	592,256
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	10,517	13,534	14	1,632	21	25,721	△25,721	—
計	255,140	152,920	115,953	76,112	17,657	617,783	△25,527	592,256
セグメント利益(注2)	19,542	15,907	14,462	7,655	3,519	61,087	△618	60,468

- (注) 1. セグメント利益の調整額△618百万円には、セグメント間取引消去28百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△647百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに配分していない当社におけるグループ管理費用であります。
2. セグメント利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（事業撤退や縮小から生じる損失等）を除いて算出したコア営業利益で表示しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	連結
	日本ガス 事業	米国ガス 事業	欧州ガス 事業	アジア・ オセアニア ガス事業	サーモス 事業	合計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	266,755	164,236	149,249	90,782	20,361	691,385	150	691,535
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	7,419	12,564	146	2,620	11	22,762	△22,762	—
計	274,174	176,800	149,396	93,403	20,372	714,147	△22,611	691,535
セグメント利益 (注2)	22,474	20,439	19,430	9,734	4,953	77,032	△715	76,316

- (注) 1. セグメント利益の調整額△715百万円には、セグメント間取引消去164百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△879百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに配分していない当社におけるグループ管理費用であります。
2. セグメント利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（事業撤退や縮小から生じる損失等）を除いて算出したコア営業利益で表示しております。

セグメント利益から、税引前四半期利益への調整は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
セグメント利益	60,468	76,316
持分法による投資損益	2,749	—
その他	△63	△59
営業利益	63,154	76,256
金融収益	1,102	1,634
金融費用	△9,535	△8,900
税引前四半期利益	54,721	68,991